

○水生生物モニタリング調査結果一覧（太田川F）

<太田川F 水質底質採取項目>

項目 調査地点	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
F-1	○	○	○	○	○	○

<太田川F 現場測定項目>

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時			水質					底質		その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (℃)	泥温 (℃)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透視度 (cm)		
F-1	37.5975°	140.9252°	H29.8.28	14:45	14:53	19.8	19.9	砂	2.5Y4/6	なし	0.38	>50		

<太田川F 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
F-1	37.5975°	140.9252°	H29.8.28	14:45	7.4	<0.5	3.1	9.4	5.6	0.03	1.2	2	1.2	0.027	0.19	0.0036

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<太田川F 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成							Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)	
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)				最大粒径 (mm)
F-1	37.5975°	140.9252°	H29.8.28	14:53	7.0	302	17.7	1.2	2.3	2.664	22.1	36.5	34.3	4.1	0.9	2.1	1.0	9.5	240	1900	0.49

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<太田川F 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム(Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137	
F-1	太田川本流	37.5975°	140.9252°	H29.8.20	藻類・植物	—	—	—	—	河床付着物（藻類を含む）	—	0.0057	—	—	—	196	16	180	—
					節足動物	昆虫	トビケラ	ヒゲナガカワトビケラ	<i>Stenopsyche marmorata</i>	ヒゲナガカワトビケラ	46	0.010	幼虫	—	—	200	20	180	—
					節足動物	昆虫	トンボ	エゾトンボ	<i>Macromia amphigena amphigena</i>	コヤマトンボ	20	0.011	幼虫（ヤゴ）	—	—	123	13	110	—
					節足動物	昆虫	トンボ	オニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>	オニヤンマ									
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトノボ	<i>Onychogomphus viridicostus</i>	オナガサナエ									
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトノボ	<i>Sieboldius albardae</i>	コオニヤンマ									
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトノボ	<i>Davidius sp.</i>	ダビドサナエ属									
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトノボ	<i>Asiagomphus melaenops</i>	ヤマサナエ									
					節足動物	軟甲	エビ	テカエビ	<i>Palaemon paucidens</i>	スジエビ	6	0.011	成体	—	—	414	44	370	—
					節足動物	軟甲	エビ	ヌカエビ	<i>Paratya improvisa</i>	ヌカエビ	92	0.014	未成年/成体	—	—	238	28	210	—
					脊椎動物	硬骨魚	ウナギ	ウナギ	<i>Anguilla japonica</i>	ニホンウナギ	1	0.13	未成年	スジエビ	内臓除去	584	64	520	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	2	0.0031	未成年	—	—	174	24	150	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Zacco platypus</i>	オイカワ	6	0.028	未成年	—	—	223	23	200	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	トシヨウ	<i>Cobitis biwae</i>	シマドジョウ	4	0.0037	未成年/成魚	—	—	184	24	160	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	トシヨウ	<i>Lefua echigonia</i>	ホトケドジョウ	19	0.017	未成年/成魚	—	—	79.0	9.0	70	—
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハセ	<i>Rhinogobius fluviatilis</i>	オオヨシノボリ	6	0.021	未成年/成魚	—	—	493	63	430	—
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハセ	<i>Rhinogobius sp. CB</i>	シマヨシノボリ									
脊椎動物	頭甲	ヤツメ	ヤツメ	<i>Lampetra reissneri</i>	スナヤツメ	2	0.0049	アモンテス幼生	—	—	33	N.D. (6.6)	33	—					
粗粒状有機物	—	—	—	—	—	—	0.24	—	—	—	135	15	120	—					
F-3	太田川本流	37.6045°	140.9636°	H29.8.20	軟体動物	腹足	盤足目	カワナ	<i>Semisulcospira libertina</i>	カワナ	30	0.0074	成体	—	軟体部	206	26	180	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Nipponocypris temminckii</i>	カワムツ	11	0.16	未成年/成魚	—	—	94	11	83	—
F-5	太田川本流	37.6022°	140.9868°	H29.8.20	節足動物	軟甲	エビ	アメリカザリガニ	<i>Procambarus clarkii</i>	アメリカザリガニ	1	0.011	成体	—	—	87.4	9.4	78	—
					節足動物	軟甲	エビ	モズガニ	<i>Eriocheir japonica</i>	モクズガニ	2	0.037	未成年	—	—	168	18	150	—
					脊椎動物	硬骨魚	ウナギ	ウナギ	<i>Anguilla japonica</i>	ニホンウナギ	1	0.16	未成年	空胃	内臓除去	309	39	270	—
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	アユ	<i>Plecoglossus altivelis</i>	アユ	20	0.066	未成年	—	—	193	23	170	—
					脊椎動物	両生	無尾	アカハシ	<i>Rana catesbeiana</i>	ウシガエル	1	0.13	成体	—	—	32.4	5.4	27	—

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。